

研究課題名	胎盤の機能・形成不全が原因と考えられる産科疾患の分子・細胞生物学的病因解析
研究期間	実施許可日 ~2027年10月31日
研究の対象	2008年9月から2025年8月の間に、広島大学病院産婦人科で分娩における付属器官（胎盤および卵膜）の摘出、または広汎子宮全摘等の摘出手術を受け、検体が保存されている患者さん。および本研究について説明を受け、文書による同意をされた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：妊娠高血圧症など胎盤の形成に問題がある産科疾患に関して、その原因はほとんど解明されていません。今回、胎盤形成過程で重要な役割をもつと考えられる遺伝子群に関して遺伝子解析、機能解析を行い、これら疾患の治療・予防に貢献しようと、この研究を計画しました。 研究の方法：本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。手術の際に摘出された試料と診療録情報を用います。試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、広島大学病院 産科・婦人科（研究責任者 山崎友美）で胎盤の形成、機能不全に関連する遺伝子（内在性レトロウイルス配列、細胞融合関連遺伝子等）の解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、胎児性別、妊娠週数、妊娠経歴、体重(BMI)、血圧、胎盤重量、胎児重量、病理所見、喫煙歴、飲酒歴、これまでの病歴、母体・胎児血液所見 試料：摘出された胎盤（卵膜）、子宮組織の一部と血清サンプル
外部への試料・情報の提供	本研究において広島大学から他機関へ提供することはありませんが、同様の疾患の研究において二次利用する可能性はあります。その際も誰のものかわからないよう個人情報加工したまま適切に用います。
利用または提供を開始する予定日	本院における実施許可日（2020年8月17日以降）
個人情報の保護	研究に用いる前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないよう加工します。本学へ提供いただく際も、個人情報加工されたものでだれの情報かわからない状態で提供されます。個人と連結させるための対応表は、個人情報管理者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 産科・婦人科 助教 山崎 友美
その他	

<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院産婦人科教室 職名 助教 山崎友美 T e l : 082-257-5262 E-mail : yama1030@hiroshima-u.ac.jp</p>
--------------------------------	--